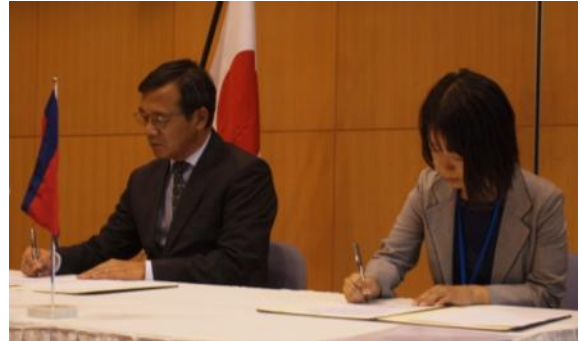


平成24年度日本NGO連携無償資金協力署名式典

11月1日（木）、平成24年度日本NGO連携無償資金協力署名式典が当館多目的ホールにて執り行われ、黒木雅文特命全権大使と公益財団法人 国際開発救援財団の高橋明美カンボジア事務所長が、「国立小児病院手術棟拡張支援事業」（供与限度額：424,246米ドル）案件の贈与契約書に署名を行いました。



本案件では、臨床機能と研修機能を持つ国立小児病院において、外科部門での治療及び医療従事者への教育の質向上を目的として、手術棟の拡張、医療機材の整備及び技術研修を実施します。国際開発救援財団は同病院を拠点として、1996年より小児外科



に対する技術協力を開始し、これまで外科診療施設の改善、医療従事者への技術研修等を実施しています。本案件を通じて、国際開発救援財団がこれまで実施してきた小児外科支援事業を更に発展させ、国立小児病院だけでなく地方病院の医療サービスも向上し、これら病院の小児外科患者約1万人が、より良い治療を受けられるようになることを目指します。

式典では、黒木雅文大使がスピーチを行い、小児医療の改善はカンボジア国政府の保健セクター戦略計画の最重点課題であり、本案件を通して、国立小児病院及び地方病院における医療サービスの向上につながることを願う旨述べました。続いて、高橋明美カンボジア事務所長が、日本国民及び政府への感謝の意を表明し、今後も病院関係者と協力して、小児外科患者により良い医療サービスを提供できるように努めていくことを約束しました。

